

案内

後期チャペル・ウィークのお知らせ

各方面で活躍されているクリスチャンの方をお招きする特別礼拝週間です。

様々な分野で活躍されている方のお話を伺い、ともに礼拝をまもる貴重な機会ですのでぜひご出席ください。

チャペル・ウィークは2時限の授業開始を通常より5分遅くして11時5分からとなります。

礼拝後懇談の時間を設けます

チャペル・ウィークでは、礼拝終了後に30分間奨励者と懇談する時間を設けています。

ご希望の方は礼拝後にロビーにお残りください。

ミニコンサートについて

10月21日(火) チャペルウィークの夕礼拝に続き、蔵本順氏と岩崎ひろき氏によるゴスペルコンサートが開催されます。出入り自由・入場無料です。

日時 10月21日(火) 19時～19時30分

場所 ガウチャー記念礼拝堂

清水 奏花 オルガンコンサートのご案内

2025年10月24日(金) 開場18時 開演18時30分

場所 ガウチャー記念礼拝堂

入場料 2,000円

※青山学院大学生・大学院生無料(要学生証) 未就学児の来場は御遠慮ください。

問い合わせ: agcac@aoyamagakuin.jp 青山学院宗教センター



青山学院大学礼拝週報

2025.10.20.

神の国節第19週

No.22

チャペル・ウィーク

聖書の人々 [21]

「エレミヤ」 Jeremiah

エレミヤは紀元前7世紀末から6世紀にかけて活動した預言者です。若い頃に、神からの呼びかけを聞き「諸国民の預言者」として立てられたとエレミヤ書(1:5)に記されています。

エレミヤはその呼びかけに強く躊躇しましたが、「しかし、主は言われた。『まだ若い』と言ってはならない。むしろ、私があなたを遣わす相手が誰であろうと赴いて、命じることをすべて語れ。」(1:7)という神の言葉に励まされて、激動の時代の中であって真実を語り続けました。

イスラエルはついにバビロニア帝国によって滅ぼされてしまいますが(紀元前587年)、エレミヤはそれをイスラエルの民の背信(罪)に対する神の裁きとして厳粛に受け止めます。その厳しい現実認識に立ちつつ、しかし国家滅亡後には、神が将来「新しい契約」を結ぶ日が来るという希望を示唆してその生涯を終えたといわれています(31:31-34)。



今年度主題聖句

神は、造ったすべてのものを御覧になった。それは極めて良かった。

タベがあり、朝があった。

(創世記 第1章31節)

今週の聖句

「主は私の羊飼ひ。私は乏しいことがない。」(詩編 23編1節)

解説：神様は羊飼ひのように、私たち一人ひとりをよく知っていて、必要なものを与え、守ってくださるお方です。古代の羊飼ひは、羊の性格や傷などまでよく覚えていて、迷ったら探しに行き、弱ったら抱えて帰りました。この聖句は、そんな深い関係の中で生きる安心を語っています。「乏しいことがない」とは、神様がいつもそばにいてくださるということの確かさなのです。

青山キャンパス／ガウチャー記念礼拝堂

<チャペル・ウィーク> (月～金・10時25分～11時05分)

タ礼拝／ガウチャー記念礼拝堂

(火・18時30分～19時)

10月20日(月)

司式 八木 隆之
奨励 鈴木 契
(電通 グループクリエイティブ
ディレクター)

前奏 奏楽 坂戸 真美
招詞
讃美歌 (灰色) 575
聖書 マタイ 6:25～34
(新10頁)

奨励 「あなたの人生の
クリエイティブ
ディレクターは誰？」

祈祷 頌栄 (灰色) 26
祝福 後奏

10月21日(火)

司式 森島 豊
奨励 飛田 貴基
(ライシャワー学園 教員)

前奏 奏楽 身崎真理子
招詞
讃美歌 (茶色) 453
聖書 マルコ 7:32～35
(新74頁)

奨励 「この学び舎での
ゆるし」

祈祷 頌栄 (茶色) 540
祝福 後奏

タ礼拝

10月21日(火)

コンテンポラリー礼拝

聖書 マタイ 28:16～20
(新59頁)

メッセージ

「あなたの使命は？」
蔵本 順
(ゴスペルディレクター)

ワークショップ・ディレクター
塩谷 達也

相模原キャンパス／ウェスレー・チャペル

<チャペル・ウィーク> (月～金・10時25分～11時05分)

10月20日(月)

司式 大宮 謙
奨励 柳沢 正史
(筑波大学 国際統合睡眠医科学
研究機構 機構長・教授)

前奏 奏楽 越川伊豆美
招詞
讃美歌 栄光と賛美を
聖書 ローマ 1:20
(新269頁)

奨励 「信仰と科学」

祈祷 頌栄 (灰色) 28
祝福 後奏

10月21日(火)

司式 和寺 悠佳
奨励 ラサニースター
(日本国際ギデオン協会
事務局職員)

前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌 (灰色) 57
聖書 IIコリント 12:9,10
(新333頁)

奨励 「弱い時こそ味わう
主の恵み」

祈祷 頌栄 (灰色) 29
祝福 後奏

10月22日(水)

司会 REEDY, David W.
奨励 高橋 潔
(鉄道弘済会理事)

前奏 奏楽 坂戸 真美
招詞
讃美歌 (茶色) 291
聖書 マタイ 11:28
IIコリント 12:10
(新20頁、333頁)

奨励 「『弱さ』が『強さ』に
変わる時」

祈祷 頌栄 (茶色) 544
黙祷 後奏

10月22日(水)

司式 島田 由紀
奨励 石原 修
(弁護士、青山学院監事)

前奏 奏楽 清水 奏花
招詞
讃美歌 (灰色) 532
聖書 マタイ 11:28
(新20頁)

奨励 「心も体も
疲れ切ったとき」

祈祷 頌栄 (灰色) 24
祝福 後奏

10月23日(木)

司式 塩谷 直也
奨励 青柳 志保
(たまプラーザ駅
徒歩2分図書館「ぶらに」代表)

前奏 奏楽 松浦 光子
招詞
讃美歌 (灰色) 575
聖書 マタイ 11:28
(新20頁)

奨励 「諦めなければ叶う・
人のためなら叶う」

祈祷 頌栄 (灰色) 25
祝福 後奏

10月24日(金)

司式 八木 隆之
奨励 坂井田真実子
(ソプラノ歌手)

前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌 (茶色) 298(1)
聖書 詩編 91:4
(旧913頁)

奨励 「翼の下の安らぎ」

祈祷 頌栄 (茶色) 542
祝福 後奏

10月23日(木)

司式 藤原 淳賀
説教 森下 滋
(聖学院中学校高等学校チャペル)

前奏 奏楽 鷺 晶子
招詞
讃美歌 (灰色) 516
聖書 エフェソ 2:14～16
(新347頁)

説教 「隔ての壁」

祈祷 頌栄 (灰色) 26
祝福 後奏

10月24日(金)

司式 和寺 悠佳
奨励 村上 純子
(聖学院大学心理福祉学部教授)

前奏 奏楽 身崎真理子
招詞
讃美歌 (茶色) 492
聖書 コヘレト 3:11a
(旧1022頁)

奨励 「パズルのピース」

祈祷 頌栄 (茶色) 543
祝福 後奏

聖書(旧):旧約聖書

聖書(新):新約聖書

讃美歌(灰色):讃美歌21

讃美歌(茶色):讃美歌・讃美歌第二編

2025年度 後期チャペルウィーク 奨励者紹介

<青山キャンパス>

10月20日 鈴木 契（すずき けい）

株式会社電通 グループクリエイティブディレクター
東京コピーライターズクラブ会員 大阪コピーライターズクラブ会員
やってみなはれ佐治敬三賞、カンヌメディアライオンブロンズ等受賞。
日本キリスト教会 夙川教会 教会員

【学生への一言メッセージ】

あふれかえる情報の中で本当に大切なことをディレクションできる方がいる青山学院はいい学校です。

10月21日 飛田 貴基（とびた たかき）

聴覚に障害を持つ子ども達の学校「きこえの学校 ライシャワー学園（学校法人日本聾話学校）」で国語科教員として勤務。幼稚園から大学まで青山学院に通い、2010年3月、青山学院大学文学部日本文学科を卒業。大学時代には体育会水泳部、ACF（青山キリスト教学生会）に所属。
日本基督教団 本郷中央教会 教会員

【学生への一言メッセージ】

母校で、皆様と共に礼拝を捧げられることに感謝です。

10月22日 石原 修（いしはら おさむ）

1987年弁護士登録。TMI総合法律事務所パートナー。2012年より青山学院監事。企業のリスクマネジメントを専門とし、企業犯罪（リクルート事件・ゼネコン汚職事件・大蔵省接待汚職事件他）の刑事弁護や不祥事の第三者委員会等を担当。映画・音楽・ITの分野も得意とする。司法研修所教官、東京弁護士会副会長、日本弁護士連合会常務理事、関東弁護士会連合会副理事長を務める。
日本福音ルーテル市ヶ谷教会 教会員

【学生への一言メッセージ】

学生の皆様との交流を楽しみにしております。

10月23日 青柳 志保（あおやぎ しほ）

たまプラーザ駅徒歩2分図書館「ぶらに」代表。子どもと若者の居場所としての私設図書館を自身の仕事場に2021年に開館。玉川大学でピアノ専攻を卒業後、青山学院女子短期大学の非常勤講師として25年勤務、その後50歳になってから撮影編集（YouTube）の仕事を始め、現在はStudio Chiffonという社会的弱者の方々を撮影する動画撮影スタジオを運営。撮影スタジオの傍で子どもと若者が自由に本を読んだり困りごとを話し合ったり相談しあったりする姿に心弾む毎日です。
日本基督教団 目白町教会 教会員

【学生への一言メッセージ】

学生さんの貧困支援をしていますので、「経済的な貧困」や「心の貧困」で困った時にはご遠慮なくofficechiffon0605@gmail.comまでご連絡ください。

10月24日 坂井田 真実子（さかいだ まみこ）

坂井田真実子（ソプラノ）
自由学園卒業、国立音楽大学大学院修了、海外留学や国際コンクール入賞を経て活躍。2016年難病NMOSD（視神経脊髄炎スペクトラム障害）発症するも舞台へ復帰。NMOSDの患者会を設立し理事長を務める。「奇跡のソプラノ」と呼ばれる。

坂井田真実子HP <https://sakaidamamiko.com>

NPO法人 日本視神経脊髄炎患者会HP <https://nmosd-japan.com/join/>
日本同盟基督教団 和泉福音教会 教会員

石井里乃（ピアノ）
国立音楽大学附属幼稚園よりピアノを始め、ドイツで国家演奏家資格を満場一致の最優秀で取得。桐朋学園及び国立音楽大学大学院で指導。

【学生への一言メッセージ】

皆さんとお会い出来ることを楽しみにしていました！感謝、感謝、そして感謝！音楽も祈りの言葉も目には見えませんが神様は静かに聞かれています。どうか皆さんの日々も、神様の翼に支えられますように。

<夕礼拝>

10月21日 蔵本 順（くらもと じゅん）

上智大学経済学部卒。NY・Harlemにて、Gospel Singerとして活動開始。
2017年に総合商社を退職後、Gospel Directorとして日本で本格的に活動を開始すると共に、スタートアップで事業開発に従事し、多彩なキャリアを築く。
現在は、株式会社アークエッジ・スペースにて事業部長を務めると共に、日本基督教団赤坂教会のMusic Directorとして、同教会の賛美ユニット：CallingのVocal、VESSEL Gospel ChoirのDirectorを務める。
Gospelを通して「愛され・愛すこと」「自分らしく生きること」の意義を伝える。
日本基督教団 赤坂教会 教会員

【学生への一言メッセージ】

皆さんに注がれている神様の愛を、是非受け取って下さい。
一方で、生きることは時に苦しいし、悩むこともあります。それらとの付き合い方を、少しでも先に生まれた僕の経験から、ご紹介出来ればと思います。

2025年度 後期チャペルウィーク 奨励者紹介

<相模原キャンパス>

10月20日 柳 沢 正 史 （やなぎさわ まさし）

筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIIS) 機構長・教授。

1960年東京生まれ。筑波大学医学部卒業・大学院修了。1991年31歳で渡米し24年間にわたりテキサス大学にて研究室を主宰。2012年より現職。血管収縮物質エンドセリン、睡眠制御物質オレキシンを発見し、いずれも医薬の標的として臨床応用されている。米国科学アカデミー正会員。文化功労者。紫綬褒章、朝日賞、慶應医学賞、ブレイクスルー賞など受賞。

日本バプテスト連盟 筑波バプテスト教会 教会員

【学生への一言メッセージ】

キリスト教信仰は科学と対立するものなのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

10月21日 ラサン イースター

日本国際ギデオン協会事務局職員。東京都出身。青山学院大学総合文化政策学部2023年卒。卒業後、PR会社の営業職を経て、一般財団法人日本国際ギデオン協会事務局へ入職。現在は、聖書の担当として、クリスチャン・ビジネスマンおよび専門職業人として奉仕している全国約1300名の会員へ聖書を届ける働きを担う。

日本バプテスト同盟 カチン平和教会 教会員

【学生への一言メッセージ】

大好きな青山学院で、学生の皆さんと礼拝を共にできることを心から嬉しく思います。主の恵みが皆さんの上に豊かにありますように。

10月22日 高 橋 潔 （たかはし きよし）

1956年11月東京生まれ。1981年4月に障害児入所施設「弘済学園」に入職し、2023年まで重い障害のある子どもたちの入所・通所支援にあたる。現在は、公益財団法人鉄道弘済会理事、社会福祉法人 秦野市社会福祉協議会会長を務める。臨床心理士・公認心理師・防災士。子ども3人、孫ひとり。今は妻と2匹の猫で秦野市に住む。

日本バプテスト連盟 ふじみキリスト教会 教会員

【学生への一言メッセージ】

「神に創造された私たちは皆、神の尊い作品であり、比べられない無上の価値がある存在です」(犬塚 修師)

10月23日 森 下 滋 （もりした しげる）

聖学院中学校高等学校チャプレンとして奉職中。

慶應義塾大学環境情報学部を経て、ジャズピアニストとして現在も活動中。牧師として仕える召命を受けて東京神学大学大学院にて神学修士号取得、2018年より韓国へ渡り神学の学びと韓国教会での奉仕を続ける。2025年2月監理教神学大学にて哲学博士号を取得。

日本基督教団正教師

【学生への一言メッセージ】

韓国での7年間の留学生活で体験したことから日本の今についてみなさんと一生に考えたいと願っています。

10月24日 村 上 純 子 （むらかみ じゅんこ）

聖学院大学心理福祉学部教授、カウンセリングオフィスお茶の水代表。慶應義塾大学文学部卒。Wheaton大学(米) 大学院臨床心理学研究科修士課程、聖学院大学大学院欧米文化学研究科博士課程修了(学術博士)。精神科病院やクリニック、震災後の被災者に対する心のケア、スクールカウンセラーなどの業務に従事。臨床心理士・公認心理師。

日本バプテスト教会連合 大野キリスト教会 教会員

【学生への一言メッセージ】

大学時代は、自分自身と向き合い、これからの人生について考える大切な時期です。皆さんと一緒に、そのことを考えていけたらと思っています。